



上智大学イベロアメリカ研究所

2009年度活動報告

(2009年4月～2010年3月)

No. 17 (2010年5月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究

「グローバル化時代のラテンアメリカ地域研究と教育」

研究代表者：堀坂浩太郎

共同研究者：Nina HASEGAWA、幡谷則子、岸川毅、子安昭子、三田千代子、Mauro NEVES、大越翼、田村梨花、谷洋之、Helena TOIDA、Ana Elisa YAMAGUCHI、吉川恵美子

研究発表：(9月29日) 研究機構 Festival ポスターセッション参加

研究課題：「グローバル化時代のラテンアメリカ研究と教育：

『桜(俳句)』から『イペー(haikai)』へ ブラジルにおける俳句の流れ」

発表：Helena TOIDA「ブラジルにおける俳句、二つの流れ」

海外出張：谷洋之(メキシコ、10月30日～11月7日)

◆ ランチタイム・フリートーク

第19回 4月22日 岸川毅「革命党の結成 メキシコにおける近年の歴史研究を踏まえて」

第20回 6月4日 谷洋之「メキシコ革命体制の国民経済建設構想」

第21回 6月25日 Hugo CORDOVA QUERO “Inmigrantes brasileños y la Iglesia Católica Romana en Japón: algunos aspectos de la vida cotidiana”

第22回 7月22日 子安昭子「ルーラ政権の外交：多様化する対外関係と多国間主義」

第23回 10月20日 Ana Elisa YAMAGUCHI「在日ブラジル人の家族構成の変容とコミュニティ形態の影響に関する考察」

第24回 11月25日 吉川恵美子「佐野碩 メキシコ コロンビア」

第25回 1月20日 桜井三枝子「火を噴く先住民サミット、2007年」

◆ 平成20年度科学研究費補助金 基盤研究(B)

「メキシコ革命の100年：歴史的総括と現代的意義 国際比較の観点から」

研究代表者：堀坂浩太郎

共同研究者：岸川毅、幡谷則子、箕輪茂、Mauro NEVES、谷洋之、尾尻希和(東京女子大学)

研究会：第1回(4月9日) 土田勲「メキシコ革命を戦った日本人」

第2回(5月13日) 日本ラテンアメリカ学会第30回定期大会でのパネル発表について

第3回(9月29日) 今年度の予算執行について

報告書の執筆・出版について

第4回(12月23日) 研究成果報告書の作成準備について

報告：日本ラテンアメリカ学会第30回定期大会(6月6日)

場所：東京外国語大学

パネル A 「メキシコ革命を再考する」

コーディネータ・司会：谷洋之

- ・岸川毅「革命後体制の構築」
- ・谷洋之「相互インフラ体系の建設」
- ・マウロ・ネーヴェス「メキシコ映画における革命：描写から寓話まで」

パネル B 「革命と現代のメキシコ」

コーディネータ・司会：堀坂浩太郎

- ・箕輪茂「革命運動を支えた思想とその現代における継承」
- ・堀坂浩太郎「産油国メキシコに忍び寄る石油危機」
- ・尾尻希和「キューバ・ナショナリズム：メキシコ革命後のラテンアメリカにおける社会変革の思想と実践の一事例」

海外出張： 箕輪茂（メキシコ、2月13日～3月6日）

尾尻希和（アメリカ、コスタリカ、3月12日～3月24日）

谷洋之（メキシコ、3月15日～3月26日）

§ ラテンアメリカ事情講座（ソフィア・コミュニティ・カレッジにて開講）

第32回「描かれた他者 メキシコ・中米先住民のイメージ」

2009年10月1日～2009年12月17日（毎木曜日、全11回）、コーディネーター：大越翼

受講者数：7名

スペイン異教徒へのまなざし：15世紀末～16世紀	大越翼（上智大学）
完全なる統制が共存か：先住民社会とのつきあい方	大越翼（上智大学）
メキシコ中央高原における征服：植民地化の過程と先住民イメージの形成	井上幸孝（専修大学）
植民地時代中期以降の先住民イメージの再解釈と再利用	井上幸孝
独立後メキシコの印刷物に見る先住民像	Nina HASEGAWA（上智大学）
メキシコ映画におけるインディヘナ	Mauro NEVES（上智大学）
布教演劇の中の先住民	吉川恵美子（上智大学）
西洋ドラマトルギーの中の先住民	吉川恵美子
カトリック聖週間に蘇るマヤの先祖神マム	桜井三枝子（大阪経済大学）
2007年先住民サミット（グアテマラのマヤ遺跡）から見るマヤ・イメージ	桜井三枝子
[パネルディスカッション]他者としての「先住民」から 見えてくるもの：植民地時代から現代への時の流れの中で	全講師

§ 講演会

- ◆ 5月21日 “The Global Economic Crisis and Its Impact on Latin America”
（世界経済危機とラテンアメリカへの影響）
Fausto MEDINA-LÓPEZ（IDB 国際担当シニア・コンサルタント）
- ◆ 6月24日 ラウンドテーブル「コロンビア：政治と社会」
Gustavo ANDRADE、幡谷則子、司会：堀坂浩太郎
- ◆ 10月15日 “Vida y herencia de Juan Bosch, político y novelista dominicano: en homenaje al centenario de su natalicio”
（生誕100周年記念：ドミニカ共和国の政治家・作家ファン・ボッシュ その人生と遺産）
Pedro VERGÉS（駐日ドミニカ共和国特命全権大使）
（協力：ドミニカ共和国大使館）
- ◆ 11月25日 “As políticas de AIDS e o ativismo civil no Brasil: Rumo à sociedade com a diversidade”
（ブラジルのエイズ対策と市民運動 多様性を認め合う社会へ）
José ARAUJO LIMA FILHO（HIV 陽性者運動リーダー/ブラジル国家生命倫理委員会委員）
（協力：NPO 法人 CRIATIVOS、ブラジル保健省）

- ◆ 12月15日 “Relations between Cuba and the United States in 50 Years of the Cuban Revolution”
(キューバ革命50年と対米関係)

Dr. Carlos ALZUGARAY TRETO(キューバ・ハバナ大学)
(協力:キューバ大使館)

§ 出版物

- ◆ 『2008年度活動報告』No.16
- ◆ *Boletín Informativo*, No. LIV
- ◆ 舩方周一郎 『ブラジルにおける難民保護政策の形成 国際人権規範の国内受容と多元化する政策決定過程』(ラテンアメリカ研究ILA No.33)(ISBN: 978-4-904704-00-4)
はじめに
第I章 分析枠組み
第II章 難民保護政策の形成過程 再民主化前の対立関係
第III章 難民保護政策の形成過程 再民主化後の行為主体の多元化
おわりに 難民保護政策の実施へ
参考文献
要約(ポルトガル語)
- ◆ 大場樹精 『「アルゼンチン国民」創造/想像の過程 フアン・バウティスタ・フスト(1865-1928)の著作を通じた分析』(ラテンアメリカ研究ILA No.34)(ISBN: 978-4-904704-01-1)
はじめに
序章 研究の背景
第I章 「伝統」と「近代」のせめぎあい
第II章 フアン・B・フストの「国民」構想
第III章 フストに対する評価
終章 フストの構想
おわりに 今後の研究課題
主要参考文献
要約(スペイン語)
- ◆ ネーヴェス、マウロ 『メキシコ革命に関連するメキシコ長編フィクション映画作品目録』(ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズLAMS No.20)(ISBN: 978-4-904704-02-8)
はじめに
I. 無声時代
II. 映画産業の組織化(1929年~1940年)
III. 黄金期(1940年~1963年)
IV. 黄金期の衰退と新メキシコ映画運動(1963年~1976年)
V. メキシコ映画の危機(1976年~1992年)
VI. メキシコ映画の復活(1992年以降)
むすびにかえて
参考文献
索引 収録作品
索引 監督・脚本家・俳優
- ◆ 堀坂浩太郎/岸川毅編 『メキシコ革命の100年 歴史的総括と現代的意義』(ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズLAMS No.21)(ISBN: 978-4-904704-03-5)
岸川毅「序章 メキシコ革命とはどのような革命か」
堀坂浩太郎「第I章 メキシコ革命の遺産 産油国メキシコに忍び寄る石油危機とその背景」
箕輪茂「第II章 『未完の革命』の成就 思想的「遺産」の復活としての政治的民主化」
マウロ・ネーヴェス「第III章 メキシコ映画に描かれた革命 描写から寓話へ」
谷洋之「第IV章 革命期メキシコ経済における『米国モデル』の探求 『断絶』と『継続』を手がかりに」

岸川毅「第Ⅴ章 メキシコと台湾における革命党体制と民主化 ヘゲモニー政党制の形成と解消をめぐって」
尾尻希和「第Ⅵ章 キューバのふたつの革命 1933年と1959年」

◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN: 1346-5058), No.11

講演会

Sedi HIRANO, “As políticas sociais de combate à desigualdade e pobreza no Brasil nos últimos anos”

Miguel CHIKAOKA, “Os fotógrafos em ação - com enfoque nos moradores da Amazônia”

論文

田村梨花「アマゾン世界社会フォーラム 総評とローカル NGO との関係の分析から」

拝野寿美子「在米ブラジル人の生活と子どもの教育 移民第二世代の教育に関する日米比較の視座」

研究ノート

高橋慶介「カンドンブレの『伝統』と民族誌 『ナゴ伝統論争』のゆくえ」

齋藤俊輔「ブラジル人学校における日本語教育 群馬県邑楽郡大泉町 N 校の教育現場から」

書評

渡会環 “*Sem perder a raiz: corpo e cabelo como símbolo da identidade negra*”

研究所ニュース

活動日誌

編集後記

◆ 『イベロアメリカ研究』(ISSN: 0388-1237)

第 XXXI 卷第 1 号 (2009 年度前期)

論文

鳥塚あゆち「アンデス牧民社会における土地区分をめぐる変化と共同体のあり方 ペルー南部高地ワイリャワイリャ共同体の事例から」

Hugo CORDOVA QUERO, “Promised Land(s)?: Ethnicity, Cultural Identity, and Transnational Migration among Japanese Brazilian Workers in Japan”

研究ノート

桜井三枝子「グローバル都市ロサンゼルス、アパレル産業に従事する中米系ヒスパニック」

金澤直也「黒人から先住民へ ホンジュラスのガリフナを事例にして」

書評

舩方周一郎 “*Hochstetker, Kathryn and Keck, Margaret E., Greening Brazil: Environmental Activism in State and Society* (Durham and London: Duke University Press, 2007), viii, 243p.”

金谷美紗 “*Hishaam D. Aidi, Redeploying the State: Corporatism, Neoliberalism, and Coalitional Politics* (New York: Palgrave Macmillan, 2009), xii, 246p.”

資料

ラテンアメリカ日誌 2008 年

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

第 XXXI 卷第 2 号 (2009 年度後期)

講演

Santiago GARCÍA (con Patricia ARIZA) “El teatro popular en Colombia y el Teatro La Candelaria”

吉川恵美子「解説：サンティアゴ・ガルシア氏を迎えて」

論文

Esther ESPINAR CASTAÑER “El japonismo en la revista Plus Ultra (1916-1930)”

Francis PEDDIE “Inmigrante bueno, inmigrante malo: Las experiencias contrastantes de los japoneses y los chinos en México, 1889-1934”

郷澤圭介「古典期マヤの支配概念と支配空間 カーン家の政治体制」

中神正史「グアテマラ先住民族の乳幼児の健康格差の要因の分析」

杉田優子「先住民女性リーダー、トランシトはかなわぬ夢を語ったのか エクアドル、シエラ
ノルテ、カヤンベにおける地域変動と教育の役割 」

書評

伊藤恭淑 “*Frank, Jonas, Decentralization in Ecuador: Actors, Institutions, and Incentives* (Baden-Baden:
Nomos, 2007), 327p.”

資料

日本・ラテンアメリカ関係日誌 2008 年

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 来訪者

- 5 月 20 日 Juan Carlos CAPUÑAY CHÁVEZ 駐日ペルー大使館特命全権大使
5 月 22 日 Joselyn SALADIN 駐日ドミニカ共和国大使館公使参事官
6 月 16 日 Alexander SALAS ARAYA (コスタリカ) ヘネシス代表取締役
6 月 17 日 José FERNÁNDEZ DE COSSÍO 駐日キューバ大使館特命全権大使
Tania DOMÍNGUEZ ROSAS 駐日キューバ大使館参事官
7 月 28 日 チェ・ウンピョン駐日韓国大使館第二書記官
9 月 2 日 Edmer TOVAR MARTINEZ (コロンビア) ポルタフォリオ紙編集長
9 月 2 日 Yensy Josefina ORTIZ POLANCO (エルサルバドル) エル・ディアリオ・デ・オイ紙電
子版記者
11 月 24 日 Carlos Roberto DE SOUZA MARANHÃO (ブラジル) アプリル出版社編集ディレクター
11 月 24 日 Edgar GÓMEZ-SÁNCHEZ GUTTI 在東京ペルー共和国総領事

§ 図書室

蔵書数：37,518 冊 (和書 3,944 冊、洋書 33,574 冊)
所蔵雑誌：825 点、うち洋雑誌 745 点
購入図書：242 冊 (和書 80 冊、洋書 162 冊)
受贈図書：287 冊 (和書 14 冊、洋書 273 冊)
除籍図書：2 冊 (和書 2 冊)
移管図書：36 冊 (キリシタン文庫へ移管)
貸出図書：2244 冊
利用者カード発行数：62 件

§ 人事

◆ 正所員

- 2009 年 4 月 1 日付で吉川恵美子教授 (外国語学部イスパニア語学科、専門：演劇)、子安昭子
准教授 (外国語学部ポルトガル語学科、専門：国際関係)、Ana Elisa YAMAGUCHI 助教 (外国
語学部ポルトガル語学科、専門：国際社会学) が正所員に任命された。
- 堀坂浩太郎教授は 2009 年 3 月 31 日付で所長及び正所員の任期を満了した。

◆ 客員研究員

桜井三枝子、Hugo CORDOVA QUERO、Érica Ayaco SACATA TONGU*、Rafael REYES-RUIZ**

*任期 4 月 1 日～5 月 31 日、**任期 10 月 21 日～28 日

◆ 共同研究所員

箕輪茂

◆ 準所員

藤井嘉祥、増山久美、村瀬幸代、齋藤亜子

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC順）

HASEGAWA, Nina

3月10日	論文	メキシコの印刷物における先住民像—1855-56年デカエン社刊行“México y sus alrededores”を例にして（『上智大学外国語学部紀要』第44号）187-217ページ。
-------	----	---

幡谷 則子

7月26日～ 8月23日	現地調査	コロンビア。「コロンビア紛争地域の鉱山採掘民組織とその活動」について。
11月	論文	「コロンビア」、萩原康生ほか編著『世界の社会福祉年鑑 2009』旬報社、365-384ページ。
1月29日～ 30日	国際ワークショップ報告	“National Strategies for Global Economic Development vs. Local Initiatives for Subsistence and Peace in Colombia” International Seminar on “Globalization: Past, Present and Future”, Graz.
3月10日～ 24日	現地調査	コロンビア。「グローバル経済開発と零細農民の自立化プロセス」について。

堀坂 浩太郎

4月10日	事典	「ラテンアメリカ情勢」の項目執筆、『ブリタニカ国際年鑑 2009』（日本版）、592-594ページ。
6月23日	論文	「提言 日本の対応」、「多国籍資源企業の出現と世界展開」、社団法人日本経済調査協議会『資源国ブラジルと日本の対応』、社団法人日本経済調査協議会、i-v ページ、103-132 ページ。
7月11日	記事	「日伯論壇：グローバル化時代の人材形成の場」『ニッケイ新聞』。
8月6日	講演	「エクアドルの今」、エクアドル独立 200 周年記念ラウンドテーブル、セルバンテス文化センター東京。
8月	論文	“Nikkei como o “Sal da Terra” na base das relações nipo-brasileiras, <i>Anais do XIX encontro nacional de professores universitários de língua, literatura e cultura japonesa -2008-</i> , Rio de Janeiro, Universidade Federal do Rio de Janeiro, Faculdade de Letras.
11月	インタビュー	「日伯両政府にみられる共通点とは」（在日ブラジル商業会議所情報機関誌 Brasil、8号）。
11月29日	発表	「国際化するブラジル：ネオリベリズムの延長線上に」、『ラテン・アメリカ政経学会第 46 回全国大会』、滋賀県、立命館大学びわこ・くさつキャンパス。
3月	論文	「メルコスールとブラジル 関税同盟の内憂外患」財団法人国際貿易投資研究所『新興国ブラジルの対外関係 世界金融危機を踏まえて』財団法人国際貿易投資研究所、88-108 ページ。

子安 昭子

4月25日	共著	「台頭する新興国ブラジル」、神田外語大学国際社会研究所編『グローバル化時代 国際社会の新潮流』、神田外語大学出版局 (ISBN: 978-4-8315-3000-4)、179-189 ページ。
6月23日	論文	「多様化する対外関係と資源外交 グローバル・プレイヤーへの変貌」、社団法人日本経済調査協議会『資源国ブラジルと日本の対応』、社団法人日本経済調査協議会、131-163 ページ。
3月	論文	「米国とブラジル グローバルな『大人の関係』」、財団法人国際貿易投資研究所『新興国ブラジルの対外関係 世界金融危機を踏まえて』、財団法人国際貿易投資研究所、29-45 ページ。

三田 千代子

5月31日	学会報告	日本文化人類学会第 43 回研究大会、分科会「グローバル化時代の外国人労働者とホームランド デカセギ・ブラジル人の事例」代表者（「科学研究費補助金、基盤研究(C)」）。
-------	------	--

6月および 10月	現地調査	6月、10月、三井物産の委託による在日ブラジル人労働者のアンケート調査、調査結果は http://pweb.cc.sophia.ac.jp/cmmita/ に掲載中。
6月27日 ~28日	現地調査	浜松市。「科学研究費補助金（基盤研究(C)）「グローバル化時代の外国人労働者とホームランド - デカセギ・ブラジル人の事例」に基づく。
7月1日	共著	「ブラジル社会の多様性とその承認」、畑恵子・山崎眞次編著『ラテンアメリカ世界のことばと文化』、成文堂、37-59ページ。
10月17日	発表	慶應義塾大学東アジア研究所プロジェクト研究会、研究報告「在日ブラジル人の社会経済生活 アンケート調査から」。
10月31日 ~11月2日	現地調査	浜松市。「科学研究費補助金（基盤研究(C)）「グローバル化時代の外国人労働者とホームランド - デカセギ・ブラジル人の事例」に基づく。
12月12日 ~13日	現地調査	浜松市。「科学研究費補助金（基盤研究(C)）「グローバル化時代の外国人労働者とホームランド - デカセギ・ブラジル人の事例」に基づく。
2月27日	講演	「ブラジル人とブラジル社会」浜松国際交流協会。
2月28日 ~3月3日	現地調査	浜松市。「科学研究費補助金（基盤研究(C)）「グローバル化時代の外国人労働者とホームランド - デカセギ・ブラジル人の事例」に基づく。

NEVES, Mauro

8月12日~ 9月2日	現地調査	ブラジル。
9月4日~ 9月8日	映画祭参加	アメリカ（ロスアンゼルス）。

大越 翼

6月30日	著書	<i>Códice de Calkiní</i> . Introducción, transcripción, traducción y notas de Tsubasa Okoshi Harada. Centro de Estudios Mayas, Instituto de Investigaciones Filológicas, UNAM, México. (Fuentes para el estudio de la cultura maya, 20). (ISBN: 978-607-092-0632-0).
8月5日~ 9月9日	現地調査	メキシコ合衆国メキシコ市、ユカタン州、カンペチェ州。「科学研究費補助金（基盤研究(B)）「日常実践におけるマヤ言説の再領土化に関する研究」に基づく。研究代表者：吉田栄人東北大学准教授。
11月14日	学会報告	“La formación del <i>cuchcabal</i> de Maní: las interacciones de sus unidades componentes (<i>cuchteel</i> y <i>batabil</i>) y el ejercicio del poder de los Xiu en el Posclásico terminal”, en 14th European Maya Conference, Cracovia, Polonia.
12月	編著書	<i>Text and Context: Yucatec Maya Literature in a Diachronic Perspective. Texto y contexto: la literatura maya yucateca en la perspectiva diacrónica</i> . Antje Gunsenheimer, Tsubasa Okoshi Harada, John F. Chuchiak (eds.), Institut für Altamerikanistik und Ethnologie, Rheinische Friedrich-Wilhelms Universität Bonn, Bonn, Germany. (Bonner Amerikanistische Studien-BAS 47). (ISBN: 978-3-8322-8808-2, ISSN: 0176-6546).
12月	共著論文	“Introducción”, en coautoría con Antje Gunsenheimer y John F. Chuchiak, en Antje Gunsenheimer, Tsubasa Okoshi Harada, John F. Chuchiak (eds.), <i>Text and Context: Yucatec Maya Literature in a Diachronic Perspective. Texto y contexto: la literatura maya yucateca en la perspectiva diacrónica</i> . Institut für Altamerikanistik und Ethnologie, Rheinische Friedrich-Wilhelms Universität Bonn, Bonn, Germany, pp. 7-28.
12月	論文	“La ‘historia’ de los Cocom: una lectura de la <i>Relación de las cosas de Yucatán</i> de fray Diego de Landa”, en Antje Gunsenheimer, Tsubasa Okoshi Harada, John F. Chuchiak (eds.), <i>Text and Context: Yucatec Maya Literature in a Diachronic Perspective. Texto y contexto: la literatura maya yucateca en la perspectiva diacrónica</i> . Institut für Altamerikanistik und Ethnologie, Rheinische Friedrich-Wilhelms Universität Bonn, Bonn, Germany, pp. 139-158.
12月7日	研究発表	「植民地体制下におけるユカタン・マヤの領域概念の研究」「科学研究費補助金（基盤研究(B)）日常実践におけるマヤ言説の再領土化に関する研究」に基づく。研究代表者：吉田栄人東北大学准教授。

12月13日	講演	「ユカタン・マヤ村落内における先住民の社会的空間の創成と拡大」 於：第18回京都イスパニア語研究会。
12月23日	講演	「マヤ人の空間利用と植民地時代におけるその再領土化」於：名古屋大学。
12月31日	追悼文	「大井先生との30年」、(『京都ラテンアメリカ研究所紀要』No.9)、1-4ページ。
3月10日～ 27日	現地調査	メキシコ合衆国カンペチェ州カンペチェ州立公文書館、カルキニ町公文書館、カルキニ町およびヌンキニ村における野外調査。
3月31日	論文	「対人主義の表象としての空間概念：植民地時代マヤ先住民の地図から見えるもの」、中村靖子編著『交響するコスモス：人文学・自然科学編「環境からマクロコスモスへ」、上巻、松籟社、pp.136-169。(ISBN 978-4-87984-282-4 C0030)。
3月31日	研究成果 報告書	第4回例会「マヤ人の空間利用と植民地時代におけるその再領土化」、(中村靖子編『人文学と科学のココロ 我々は何故物語を渴望するのか 平成21年度名古屋大学総長裁量経費成果報告書「科学的理性と詩的構想力との相互作用に関する学際的研究」』)、3-5ページ。

田村 梨花

4月1日～ 3月31日	個人研究	科学研究費補助金(若手研究(B))「ブラジルにおけるノンフォーマル教育と社会的包摂に関する基礎的調査研究」。
7月23日	共著	「NGOによる教育実践と子どものエンパワーメント」、篠田武史、宇佐見耕一編『安心社会を創る ラテン・アメリカ市民社会の挑戦に学ぶ』、新評論、175～201ページ。
8月27日～ 9月19日	現地調査	ベレン(ブラジル)。NGOおよびベレン市教育局における現地調査・インタビュー。文部科学省科学研究費補助金、若手研究(B)、「ブラジルにおけるノンフォーマル教育と社会的包摂に関する基礎的調査研究(研究課題番号:21730677)」による調査。
3月31日	共著	「民衆から教育を学ぶ ブラジル北部におけるフィールドワークより」、吉田研作編『外国研究の現在と未来』、上智大学出版会。

谷 洋之

3月30日	論文	「メキシコにおけるトウモロコシ生産・流通・消費の動向 自由化から新たな輸入代替へ?」清水達也編『食料危機と途上国におけるトウモロコシの需要と供給』アジア経済研究所、39～59ページ。
-------	----	---

TOIDA, Helena H.

3月10日	論文	「クロニカ(4) ありふれたもののクロニスタ、フェルナンド・サビーノ」(『上智大学外国語学部紀要』第44号)243～259ページ。
3月31日	共著	「ポルトガル語との出会い」、吉田研作編『外国研究の現在と未来』、上智大学出版会、204-212ページ。

吉川 恵美子

7月4日	展覧会冊子	「二〇世紀初頭の演劇とグアダルーベ・ポサダ」、『ホセ・グアダルーベ・ポサダ』名古屋市美術館所蔵品によるホセ・グアダルーベ・ポサダ展配布冊子、世田谷美術館、22-25ページ。
1月20日	書評	岡村春彦『自由人 佐野碩の生涯』(岩波書店、2009年)、リプレーザ2期(1)、リプレーザ社、160-163ページ。
3月 3月1日	舞台協力 書評	劇団AKUのコロンビア公演用台本『KA-E-RU かえる』翻訳。 岡村春彦『自由人 佐野碩の生涯』(岩波書店、2009年)、日本イスパニア学会会報第16号、21-23ページ。
3月13日 ～19日	調査	2010Taiwan International Festivalにおけるコロンビアの劇団 Teatro La Candelaria およびデンマークの劇団 Od in Teatret の公演見学ならびに台湾の主催者(マグダレーナ・プロジェクト)との交流。

3月27日	年鑑	「ラテンアメリカ演劇 2009 ポアールからコミュニティ演劇へ」、 『THEATRE YEAR-BOOK 2010 Theatre Abroad 諸外国の演劇事情』、国際 演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター、78-83 ページ。
-------	----	---

上智大学イベロアメリカ研究所
102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
Tel . 03-3238-3530 Fax. 03-3238-3229
E-mail: iber@ sophia.ac.jp
<http://www.info.sophia.ac.jp/ibero>